

海田小学校教育目標

夢への挑戦「自ら学び 自ら伸びる」

めざす児童像

聞いて 考えて 行動できる子ども  
 自他を大切にできる子ども  
 目標をもち ねばり強く取り組む子ども  
 体力づくりに励む子ども

本年度重点目標

- 確かな学力の定着**
- ・既習事項を活用して学習する。
  - ・基礎基本の定着と活用力の向上を図る。
  - ・無解答率0をめざしてあきらめない学習。
- 豊かな心の育成**
- ・自尊感情の育成・自己肯定感を高める。
  - ・あいさつ日本一をめざす。
  - ・共感的人間関係の育成と聴く力の育成を図る。
- 体力・耐力の育成**
- ・スポーツテストの効果的な活用を行う。
  - ・ランランランへ目標ある取組を行う。
  - ・体育の授業改善を行う。
  - ・欠席0に向けた取組を行う。

評価項目 2

立ち止まってはっきりした声で挨拶ができる。

評価のポイント

- ・立ち止まって！
- ・はっきりした声で！

評価指標

挨拶名人シールの学期ごとの獲得数が3枚以上の児童の割合 70%

70%以上…4      65%以上…3  
 60%以上…2      60%未満…1

自己評価点

2

シール配布により、意欲は高まっている。

**しかし** これは現段階での有効な手段！  
**最終的には、挨拶すること自体に喜びを感じる子をめざす。**

具体的方策	成果(○)と課題(▼)	改善策
<p>○あいさつ名人の推薦。</p> <p><b>挨拶への意欲を高めるため、シールを配布。</b></p> <p><b>地域でも挨拶を増やすため保護者にもお願い。</b></p> <p>○児童会による挨拶運動。</p> <p>○児童による生活目標の自己評価。</p> <p>○西中学校区との連携。</p> <p>○登校班への指導。</p>	<p>○挨拶名人シールの配布を校外活動部の役員にお願いしたことにより、校外での挨拶運動について保護者に意識してもらうきっかけになった。</p> <p>▼挨拶名人<b>シールの配布に煩雑さがあり、適時、配布することができなかった。</b></p> <p>○高学年にとっては、同級生が挨拶運動を頑張っている姿を見て励みになった。</p> <p>▼「いつもできた」「だいたいできた」を合わせて、達成状況を評価していたため、さらに上のレベルをめざすための課題が見えにくかった。</p> <p>○学校・地域・保護者・児童・生徒が挨拶を通して関わり合う有意義な機会となっている。</p> <p>○毎日の正門、裏門前での指導により、児童の挨拶へ意識を確かめることができた。</p>	<p>・簡単に配布できるシールとの引き換えカードを有効に活用してもらうと共に、配布する側の意識を更に高めていく。</p> <p>・最終的には挨拶をすること自体に喜びや気持ちよさを感じる子にしていく必要がある。</p> <p>・「いつもできた」のみの数値を、達成状況として示し、さらに上のレベルをめざさせる。</p>

